

# 身近な教育委員会

ルールメイキング～校則の話～

1

板橋第三中学校 武田幸雄

## 【校則】 *Be Gentleman* 紳士であれ

アメリカの教育者・クラーク博士が、1876年（明治9）、開校したばかりの札幌農学校（現在の北海道大学）に初代教頭として赴任した際、「規則で人間をつくることはできない。この学校に、校則はたった一つあればいい。」と言って定めた校則。本校の校則で言う「紳士」とは、男女に関係なく、知性に富み、礼儀正しく、思いやりにあふれる人のこと。

### 誰もが快適な学校生活を送るための心構え

社会に出ても必要とされる「あじみこし（挨拶・時間・身だしなみ・言葉遣い・姿勢）」について

あ

いきづ

誰に対しても自分から気持ちよい挨拶をしましょう。

じ

かん

集団生活において、時間は必ず守りましょう。

み

だしなみ

清潔感ある身だしなみ、学習の場にふさわしい身だしなみ、  
安心・安全を最優先した身だしなみをしましょう。

こ

とばづかい

時や場所や相手に応じた言葉遣い、美しい言葉遣い、  
人の心を温めるような言葉遣いをしましょう。

し

せい

授業中や食事中、人の話を聞くとときなど、  
時や場所や相手に応じた正しい姿勢をとりましょう。

### 学校に持ってきてよい物について

令和元年度、生徒の皆さんの意見も取り入れて、新たな教育目標【学ぶ・繋がる・思いやる】を制定しました。学校にもってくるものは、その教育目標を達成するために必要なものだけにしましょう。（それ以外のものを持ってくる必要のあるときは先生方に相談してください）



# Be Gentleman

## 紳士であれ

私には、校長になって以来ひそかに抱いてきた夢があります。それは、いつか細かな生活の決まりや校則が一切ない学校を築きたい、という夢です。そう聞くと、もしかしたら「学校に校則がなければ自分の好きなことができる。ぜひそういう学校にしてください」と期待した人がいるかもしれませぬ。誤解がないように、私の真意をわかりやすく説明しましょう。

「Boys, Be ambitious」（少年よ大志を抱け）の言葉で知られるアメリカの教育者・クラーク博士は、1876年（明治9）、開校したばかりの札幌農学校（現在の北海道大学）に、初代教頭として着任しました。その際、校舎内の廊下にたくさんの校則が貼られているのを見て、クラーク博士はこう言ったそうです。

「規則で人間をつくることはできない。この学校に、校則はたった一つあればいい」

「それは、Be Gentlemanだ」

Be Gentleman. 意味は「紳士であれ」。Gentleman（紳士）は男性を表す言葉ですが、これは札幌農学校が当時は男子校だったからで、皆さんは「男女に関係なく、知性に富み、礼儀正しく、思いやりにあふれる人」と解釈してください。

集団の構成員一人ひとりが Gentleman、つまり、礼儀正しく、人の立場で物事を考えられ、善悪の判断を間違えることなく行動できるのであれば、その集団に細かな規則やルールは不要でしょう。私が皆さんに期待するのは、そうした自律の精神です。

「自ら律する」と書いて「自律」。  
周囲からの制約でなく、自分で確立  
した規範に従って行動できる、とい  
う意味です。「なんだ、そんな簡単  
なことか」などと思わないでくださ  
い。実は、とても難しいことなので  
す。

周囲からの制約、つまり校則がないからといって、一人ひとりが好きな時間に登校したり、学習の場にふさわしくない身だしなみをしてきたり、スマホを持ち込んで自由に使ったりしていたら、学校はどうなると思いますか？

ただ自分勝手な人間が集まり、各自やりたいことをやっているだけの無秩序な集団と化してしまうでしょう。現在多くの学校に校則がある理由の一つは、学校がそうならないようにするためでもあるのです。

全ての生徒が、自分の取るべき行動規範を、自分で決めることのできる学校。さらにその行動規範は、自分のこと以上に、他者の存在やあるべき集団の姿が優先されている学校…。校則のない学校とは、そういう学校です。

言い換えれば「校則のない学校」とは「校則を必要としない生徒が通う学校」のことなのです。そして「校則を必要としない生徒」とは、「自律の精神が身についている生徒」ということになるでしょう。

Be Gentleman（紳士であれ）の一言で、全ての生徒が快適で秩序ある集団生活を送れるような学校を築きましょう。

Be Gentleman の一言で、全ての生徒と先生とが信頼し合える学校を、ともに築いていきましょう。



## 身だしなみに関するもの

- 男子の髪の毛は耳にかからない。
- 女子は髪の毛が肩にかかったらゴムで結ぶ。ゴムの色は黒か紺か茶色。
- ブレザーの下の防寒着は黒か紺の無地のセーター。教室を出るときはブレザーを着用する。手袋・マフラーは華美でないもの。コートの色は黒か紺。

## 私生活に関するもの

- 夕焼けチャイムまでには帰宅する。
- 子どもだけでボウリング場や映画館、繁華街には行かない。
- 夜間の外出は厳禁。

- 男子の髪の毛は耳にかからない。
  - 女子は髪の毛が肩にかかったらゴムで結ぶ。ゴムの色は黒か紺か茶色。
  - ブレザーの下の防寒着は黒か紺の無地のセーター。教室を出るときはブレザーを着用する。
- 手袋・マフラーは華美でないもの。
- コートの色は黒か紺。

- 夕焼けチャイムまでには帰宅する。
- 子どもだけでボウリング場や映画館、繁華街には行かない。
- 夜間の外出は厳禁。

細かすぎて伝わらない校則は、微修正ではなく

スクラップ！

# 生徒と校長の ディスカッション

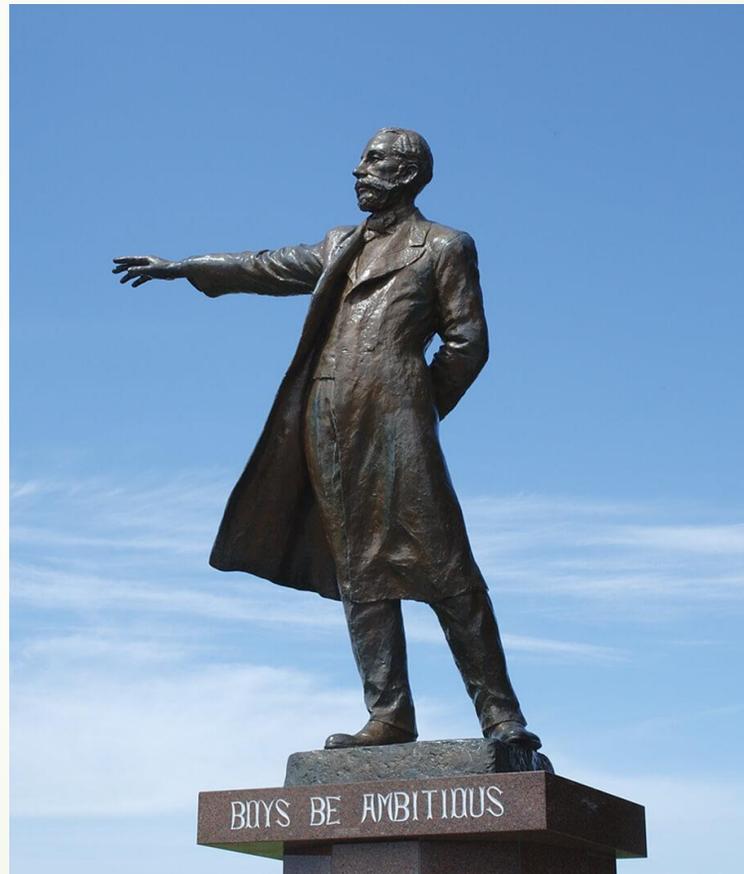
令和2年より  
校則を1本化！

東京で1番の学校

Be Gentleman

(紳士であれ)

年に1回のルールメイキングではなく  
毎日が**ルールシンキング**



ご清聴、有り難うございました。